



Daigasグループ “小さな灯”運動の概要

“小さな灯”運動の「すずらんマーク」

○ “小さな灯”運動は、Daigasグループの企業ボランティア活動として、1981年（国際障害者年）に発足。「私たち一人ひとりが身近なことに関心を持ち、地域社会のさまざまな問題の解決に自らの意思で積極的に取り組んでいこう」という趣旨で始めたもので、従業員たちが自主的に活動を企画し、参加し、続けていくというのが、この運動の特徴。

○ Daigasグループの事業活動は、地域の皆さまの生活に密着しており、そのため、地域社会の一員、つまり「良き企業市民」としての一層の自覚と行動が求められていると考え“小さな灯”運動に取り組んでいる。

「社会的養護を必要とするこども支援」「障がい者の就労支援」「被災地支援」「グループ従業員の活動支援」を活動の柱に掲げている。

○ “小さな灯”基金は、“小さな灯”運動の開始と同時に創設され、グループ従業員、その他関係先などからのチャリティカレンダー募金をはじめとする「募金」で成り立っており、集まった募金は、各地域の社会福祉活動や“小さな灯”運動の活動資金として役立てられている。

